

平成30年7月1日

「ワールドマスタースズゲームズ2021関西」 大会準備状況について

公益財団法人

ワールドマスタースズゲームズ2021関西組織委員会事務局

ワールドマスターズゲームズ2021関西 1000日前記念イベントについて

8月18日(土)大会1000日前

8月24日(金)

センゲン みんなのスポーツ1000言キックオフセレモニー

WMG開幕1000日前をPRするセレモニーとして、「みんなのスポーツ1000言」を発表。

実施日時：平成30年8月18日(土) 13時～13時30分(予定)
実施場所：関西国際空港(国際線到着ロビー/イベントスペース)
内 容：デジタル残日計 除幕式

登壇者からスポーツ1000言を発表 など

“みんなで作る”参加型デジタル残日計



大会1000日前から、アンバサダーや実行委員会、競技団体、スポンサー、ボランティアなど大会に関わる全ての関係者のスポーツ1000言(宣言)をカウントダウン!

<展開イメージ>

大会関係者や一般の方々によるスポーツ1000言を各府県市及び関係団体、域内各所のサインージ、Webバナー等に広く掲載。
参加者の一体感と盛り上がりを醸成。



1000日前・・・400日前・・・100日前・・・1日前



8月24日(金) 13時～16時にて、関係者向けイベント及び一般参加者向けイベントを2拠点にて開催する。

WMG “1000” チャレンジ!

1000日前をわかりやすく訴求するため、1000をキーワードにイベントを実施。メディアの取り上げ・SNSでの拡散を狙った展開とし、話題の創出を図る。

実施場所：グランフロント大阪 うめきた広場を想定
内 容：1000人の人文字でスポーツ1000言
みんなのスポーツ1000言&なりきりスポーツフォト体験
スポーツ“1000”チャレンジコーナー など



WMG2021関西 決起大会(総会)

アンバサダーのトークショー、みんなのスポーツ1000言の紹介などのイベント要素を盛り込み、あらためて参加者全員の一体感の醸成とさらなる機運醸成を図る。

実施場所：ヒルトン大阪
内 容：大会アンバサダーの発表・トークショー
参加者による1000言ボード記入及び写真撮影
登壇者全員(首長など)によるスポーツ1000言 など
その他：世界最大級のスポーツ祭にふさわしく、出席者全員スポーツウェアを着用の上参加いただく。

ワールドマスターズゲームズ2021関西 開会式・閉会式について

2018年5月29日の組織委員会理事会において、開会式・閉会式の会場を決定しました。

会場選定の考え方

- ・日本文化発祥の地であると同時に全国随一の文化集積地である関西を強く発信できる場所
- ・関西・日本を代表するインバウンドの人気スポットであり、広報誘客面から最適な場所
- ・隣接する公園エリアとの一帯的な使用により、参加者が滞留しやすく一緒に盛り上がる空間を構築できる場所

開会式

◎会場

岡崎エリア一帯(平安神宮、岡崎公園など)

* 平安神宮、美術館、動物園など、国内有数の文化交流施設が集積するエリア



◎開催時間 (予定)

2021年5月14日(金)
開会式典：午後3時～5時

* 午後1時～9時に、ステージ発表やパレードを含むオープニングイベントを実施する。



(イメージ図)

◎今後の予定

- ・2019年2月 式典指針・コンセプトの発表 (予定)
- ・それ以降 実施に向けた準備 (プログラムの具体化、国外参加者や障がい者など多様な方が快適に参加できる環境の整備)

閉会式

◎会場

大阪城ホール

* 大阪城天守閣をはじめ歴史文化施設があり、カフェ・レストランなど商業サービス施設なども充実した観光地ともなっている、大阪城公園内に立地する施設



◎開催時間 (予定)

2021年5月30日(日)
閉会式典：午後5時30分～7時

* 閉会式典の前後に、フィナーレイベントを実施する。

組織委員会の公益財団法人への移行に伴う寄付制度の創設について

1. 目的

大会の成功に向け、大会開催準備に寄付金を活用するため、また、寄付者との一体感の醸成及び広報PRに活用するため、寄付制度を創設する。

2. 寄付制度の概要

【受付方法】

大会HPに「寄付金のご案内」ページを開設し、法人・個人から銀行振込にて2,000円から寄付受付(平成30年7月1日開始)

【寄付者の公表】

寄付の功績を称える等の目的のため、公表に同意を得た寄付者について、組織委員会の裁量により、大会HPから積極的に氏名又は団体名を公表する。

【寄付者への表彰等】

個人及び法人から、一時に50万円以上の金額の寄付があった場合、会長から感謝状を贈呈し、表彰を行う。

3. 寄付制度創設の広報

- 大会HP、大会公式フェイスブック等の広報媒体による周知
- 各種関係イベント等での参加者等への案内

寄付者へのメリットは次項のとおり



寄付者へのメリット

公益法人に寄付した個人・法人は一定の要件のもと税制上の優遇措置が受けられる。

【個人】

個人は、所得控除と個人住民税の控除が受けられる。

○所得控除

所得税の課税対象となる個人の「所得額」から寄付に応じた額（寄付金合計－2,000円）が控除される。（総所得額の40%が上限）

$$\text{寄付金控除額} = \text{寄付金合計} - 2,000\text{円}$$

○個人住民税控除

都道府県民税と市区町村民税があり、寄付者の居住自治体が当法人を税制優遇の対象としている場合には、確定申告をすることにより、支払うべき「税額」そのものから寄付に応じた額が控除される。（総所得額の30%が上限）

$$\text{税額控除額} = (\text{寄付金合計} - 2,000\text{円}) \times 10\% \text{ (※1)}$$

※1 都道府県が指定した寄付金は4%、市区町村が指定した寄付金は6%、ともに指定した寄付金の場合は10%。

ただし、組織委員会が自治体に申請し、「控除できる団体」と認定されることにより寄付者が控除を受けることができるようになるため、現在、申請手続きを行っているところ。

【法人】

法人は、一定の限度額内で寄付金を損金算入^(※2)することができる。

※2 「損金」とは、法人が収益を得るために支出した経費のこと。法人税の課税対象は、「益金」から「損金」を控除した金額であるため、寄付金が損金に算入されることにより、法人税の課税対象が減り、納付すべき法人税が軽減される。

海外向けPRポスターについて



広報誘客部

○海外からの2万人誘客に向け、広報ツールの1つとして海外向けPRポスターを作成

○欧米人・アジア人の意見を聞いた上でデザイン選定。地域別の人気のスポーツを取り入れている



【配布先】

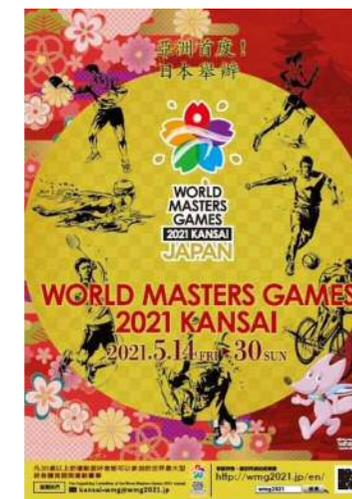
- ・自治体海外事務所
- ・姉妹州省市
- ・JNTO海外事務所
- ・クレア海外事務所
- ・在外公館
- ・現地企業 など



英語Ver.



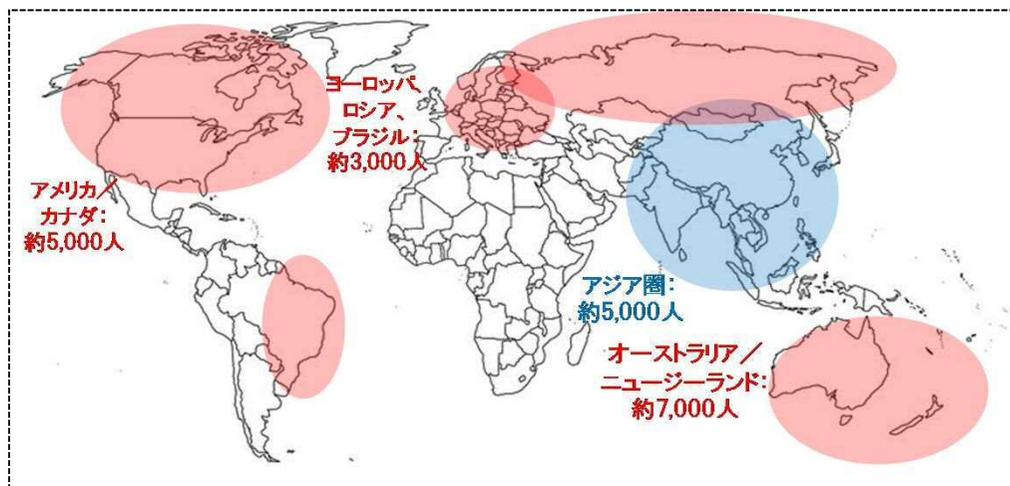
中文簡体字Ver.



中文繁体字Ver.

今後の広報誘客の展開について(海外)

重点対象国／地域：



ターゲットと目的の整理：

国外参加者目標2万人の獲得達成に向けて、
参加者ターゲットを

- I.ワールドマスターズゲームズ過去参加者層
(誘客目標:10,000人)
- II.海外類似大会参加者層(誘客目標:5,000人)
- III.アジアを中心とした参加者層(誘客目標:5,000人)

に大きく分類。

⇒ターゲットごとに効果的・効率的な広報誘客活動を行う。

これまでの取り組み内容(平成30年度)

○ホームページの多言語化

ホームページのリニューアル作業を行い、英語及び中国語(繁体字・簡体字)に対応

○デジタルメディアを活用した海外PR

訪日関心層にむけて拡散力のある観光WEBメディア等のデジタルメディアを活用し、大会及び周辺関連情報等をターゲット別(アジア及び欧米むけ・中国むけ)に発信

<アジア・欧米むけ>

5月10日より、関西の魅力(観光・文化・食ほか)とWMG2021関西を結び付けたコンテンツを、英語、中国語(繁体)、タイ語、インドネシア語、ベトナム語で情報発信開始

<中国むけ>

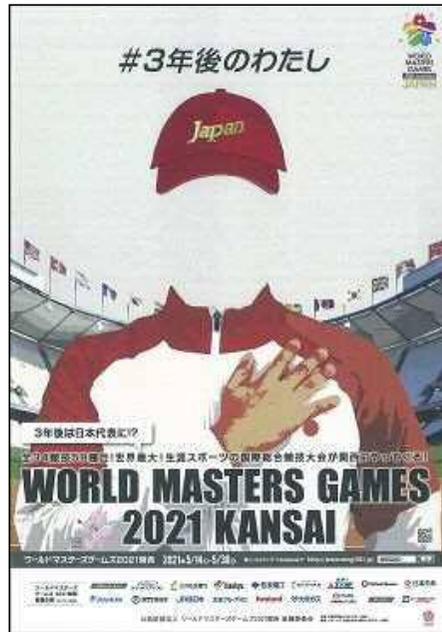
5月8日より、中国国内でWEBアカウント(Sina Weibo/Tencent Weibo)を新規開設し、中国語(簡体)で情報発信開始

○ワールドマスターズゲームズ過去大会参加者への情報発信

過去大会の参加者に関西大会にも参加していただけるよう、興味・関心をつなぐコンテンツをメールマガジンによって発信(平成30年2月～)

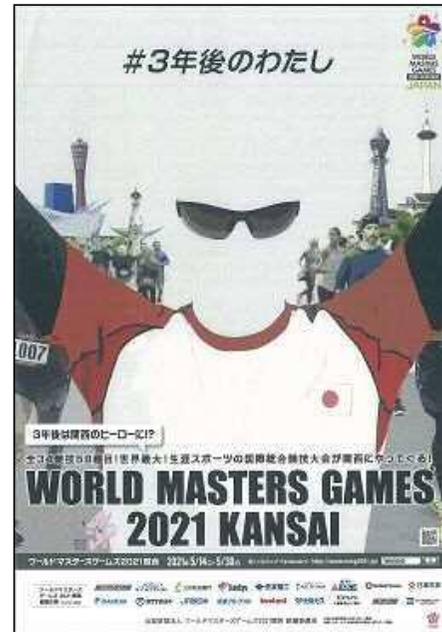
- ・発信対象：IMG A提供によるメーリングリスト(約28,000人)
- ・発信内容：組織委員会発信の大会情報と実行委員会発信のスポーツ、観光、食、文化等の開催地情報
※同内容の記事をFacebookにも掲載

2018年度国内ポスター(デザイン原案)



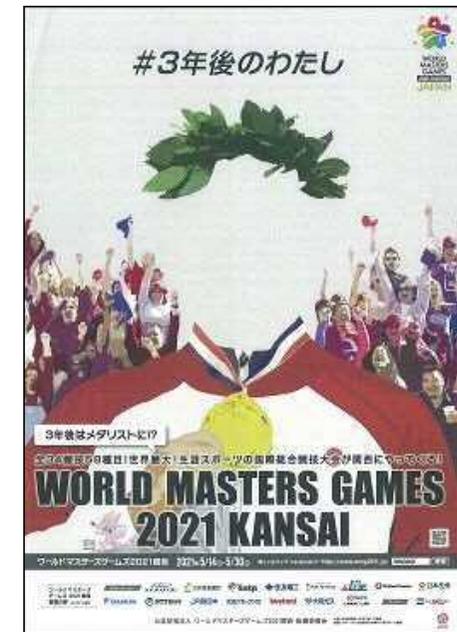
<テーマ①>

私も参加できる世界大会である



<テーマ②>

私も参加できる関西の大会である



<テーマ③>

私も活躍できるスポーツの大会である

《コンセプト》

★大会参加への期待感の高揚

・「わたしが、世界大会に、関西で参加し、活躍できる」という3段階に分けて発信することで、期待感の高揚を達成する。

★大会認知度の向上

・通常のポスター用紙ではない銀色の特殊な紙で展開し、思わずスマホで写真を撮りたくなるものとするとともに、「#」を使ってSNSにあげたくなる仕掛けを入れることにより、大会の情報をより広げ認知度向上を図ります。